

第3節 成人・婦人教育

1 婦人指導者講習会

(1) 目的 自主的な婦人団体のなかで、会員一人一人が民主的な集団活動の体験を通して人間づくりのできるような団体運営と活動のあり方について研究をすすめ、団体の指導者の養成につとめる。

(2) 期日・会場・参加者数

期 日	会 場	参加者数
36.6.25~26	常磐市湯本公民館	140
28~29	飯坂町県婦人会館	240
7.4~5	双葉郡富岡町	110
7~8	須賀川市	120
11~12	南会津郡只見町	135
14~15	会津若松市	170
21~22	白河市	250

(3) 内容

① 問題提起

婦人団体の性格と目標及び活動の領域

② 共同研究

- ア 私たちの団体は何のためにあるのか
- イ 私たちは団体のなかで何をしなければならないか
- ウ 民主的な団体運営をするために役割はどのように分担すればよいか
- エ 婦人団体と他の団体等との連絡提携とその問題について
- オ 小集団活動はどのようにすすめたらよいか

(4) 効果

研究主題及び内容が、経験を通じた具体的なものにしぼられ、話しあいに深まりが見られた。資料の準備、記録等にも大きな進歩がみられ、役に立つ研修会としてその後の団体活動が活発になった。

2 婦人学級研究集会

(1) 目的

婦人学級の目標を再認識し、これが社会教育における位置づけを明らかにし、自主的な学習がすすめられるために社会教育行政の行なうべき運営、管理について研究協議を行なう。

(2) 期日 会場 参加者

36.5.29~31 猪苗代町県積慶寮 80名

(3) 内容

① 研究主題

自主的な学習集団を育てるための婦人学級の運営管理について

② 講義

ア 社会状況の変動と社会教育の動向

講師、県教委調査研究所長 栗原喜蔵

イ 婦人教育における団体活動と婦人学級のあり方

講師、県教委社会教育指導係長 丹野清栄

③ 問題提起

本県婦人学級の現状と問題点

④ 研究協議

ア 婦人学級の開設、運営をどのようにしたらよいか

イ 学習はどのようにすすめられるべきか

(4) 効果

市町村の社会教育主事、公民館等の関係者が共通の立場で問題を究明し、公教育の学習組織とこれがすすめ方についての理解が深まり、学習計画がたてられ活動が継続的にすすめられるようになった。

3 両親教育研究集会

(1) 目的

PTAが学校、社会、家庭との間の理解と協力を促進し、新しい人間形成をはかるためには、どのような組織活動を行ったらよいかについて研究協議し、PTA運営の改善をはかる。

(2) 期日 会場 参加者数

期 日	会 場	参加者数
36.9.22	三春町立三春中学校	700
11.7	安達町立油井小学校	300
11.11	平市立平第一小学校	350
11.30	田島町立田島小学校	250

(3) 内容

① 実践報告

各会場別に小中学校代表

② 協議事項

- ア PTAの教養活動をどのように進めたらよいか
- イ PTAが校外生活指導を行なうには子ども会や施設をどうしたらよいか
- ウ PTAはどこにねらいをおき事業はどうあったらよいか
- エ 校外指導計画と実践はどうしたらよいか
- オ 青少年不良化対策とPTAの役割はどうあるべきか

(4) 効果

青少年の健全なる補導育成についての関心が高まりこれが実現のためのPTAの役割が確認された。社会教育関係団体として成人教育の重要性を感得され、計画的にすすめられるようになった。